

令和7年度 第**24**号 51年目 9月18日 児童数706名 新たなステージへ 入間 市 立 扇 小 学 校

## 扇っ子が自走する姿を見て

学校長 村越 新

9月4日(木)、人事公務員研修として約30名の青年が本校を訪れました。入間市にある人事院公務員研修所には、国家公務員の方々が、毎年研修に訪れます。その一環で、入間市の施設や企業を訪問しています。昨年度に引き続き、本校も研修会場にしていただきました。授業を自由に参観してもらった後に、五年生の教室で交流を



行いました。 1 府 11 省 1 庁に勤める、将来の日本を背負って立つ青年たちとの交流は、私にとっても刺激になりました。

この研修に参加した方々の感想が届きましたので、紹介させていただきます。

## 〈子供の様子について〉

- ○授業中の発言の多さに驚いた。
- ○ただ静かに授業を聴くだけでなく、見学に来た私たちに勉強の内容を教えて くれたり、作品を紹介してくれたり、<mark>自発的</mark>に行動していることがたいへん印 象に残った。
- ○生活の授業で、各自が出したゴミをみんなで片付ける姿を見た。誰のゴミかも 考えることなく、みんな一緒に片付けている姿に本当の意味での「協力」を学 んだ。
- ○子供たちが想像以上に互いに会話を交わし、手を挙げて発言しているのが新 鮮だった。
- ○前向きかつ素直に学ぶ姿を目の当たりにした
- ○子供が自走する姿があった。
- ○分からないことがあると、すぐにタブレットで調べていた。



- ○校内、どのクラス、どの学年も<mark>積極的</mark>に寄って きてくれて<mark>あいさつ</mark>してくれたことが印象的
- ○先生の板書をそのまま写すのが基本だと思って いたが、各々のやり方でノートをとっていたこと に驚いた。児童の主体性を感じた。
- ○とても好奇心旺盛な子供たちだった

- ○話をさせてもらった子供全員が「<mark>学校が楽し</mark> い」と言っていた
- ○比較的自由な校風の中でも、<mark>ルール</mark>やマナー は確実に守るという意識をもって生活して いると感じた。
- ○子供たちが<mark>生き生き</mark>していた。想像よりもコミュニケーションがとられていて、休み時間も元気が良いと感じた。



## 〈授業について〉

- ○音楽の授業ではタブレットを用いて、拍子や音符の勉強を行っており、好きに 音符を並べ、その音を再生することができて、分かりやすい教材になっていた。
- ○どのクラスも<mark>グループワーク</mark>形式の授業が多く、子供たちが受け身にならない工夫がされていた。
- ○教師がしなやかなマインドセットだと子供も<mark>しなやか</mark>なマインドセットになると、身をもって感じた。
- ○子供たちが自由に行動する一方、教室の<mark>秩序</mark>は保たれていて、教師の技術と責任感の高さを感じた。
- ○私が小学生の頃に比べ、机に向かって先生から話を一方的に聞くという授業 は少なく、子供たちが向かい合い、話しながら授業が進んでおり、<mark>自分で考え、</mark> 意見を交換しながら、物事を考えていく力を養っていることが分かった。
- ○先生が一方的に話す授業ではなく、子供たちが向かい合って、話し合いながら 進んでいく授業が多いと感じた。
- ○子供が<mark>先生方を慕い</mark>、敬愛しており、日常の素敵な仕事ぶりが、このような雰囲気を作っていると思った。

## くその他〉

- ○タブレットや<mark>クーラー</mark>が導入されていて、私が小学生だった頃とは学校の様子が様変わりしていた。
- ○どの教室も雰囲気が開放的だと感じた。
- ○子供が伸び伸び学び、成長できるように工夫されていると感じた。



- ○子供たちが各々<mark>個性豊か</mark>に活発に過ごしていると感じた。
- ○伸び伸びしている校風ながら、子供たちがし っかりしているのが印象的
- ○自分に子供ができたら扇小学区に引越したい と思ったほど、先生も子供もすばらしい雰囲 気だった。